

地区だより

…………… 令和3年9月1日発行

# ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,117人 女 20,647人  
計 39,764人  
世帯数：21,022世帯  
(8月1日現在)

2021  
**9**月号

## 市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課  
〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎525-3710 ㊟536-9828

## 快適空間「ふくふる」においでください

まちなか交流施設「ふくふる」は、市街地中心部にある福島市の施設です。  
サークル活動、会議、イベント、学習スペース、子どもの遊び場、待ち合わせなどさまざまなシーンでご活用いただけます。展示スペースもありますので、日頃の成果発表にもぴったりです。  
また、共用使用の場合は使用料「無料」。街なかを訪れた際にふらっとお立ち寄りいただけます。(専用使用をご希望の場合は事前お申し込みの上、「有料」となります。)



▲交流エリア



▲展示スペース



▲多目的ルーム



▲休憩スペース

■場 所／福島市本町2-6 1階  
(まちなか広場南側)

■開館時間／午前10時～午後7時  
※予約方法など施設詳細は  
ホームページをご覧ください。



■問／地域共創課 ☎525-3731  
まちなか交流施設 ☎524-3717

### 本にまつわる交流事業…『よつかどサロン』開催中!!

「本」や「本棚」を介した交流事業や「ゆるふわ座談会」を開催しています。  
本を読んだら自由に感想カードに書き込みしたり、貸し出しも行っています。  
新たな魅力発見につながるかも!興味のある方は、是非「ふくふる」へおいでください。



## 地区内工事のお知らせ (令和3年度都市防災総合推進事業 新まちなか広場整備工事)

### ■新まちなか広場

工事箇所	工事種別	予定工期		担当課
		着工	完了	
本町地内	大屋根建築杭	令和3年6月25日	令和3年10月15日	市街地整備課
	大屋根建築本体	令和3年6月22日	令和4年3月18日	
	電気設備	令和3年6月22日	令和4年3月18日	
	施設整備	令和3年7月16日	令和4年3月18日	

### ■パセオ自転車駐車場

工事箇所	工事種別	予定工期		担当課
		着工	完了	
置賜町地内	トイレ・倉庫等 建築本体および外構	令和3年6月18日	令和4年3月18日	市街地整備課
	電気設備	令和3年6月29日	令和4年3月18日	
	機械設備	令和3年6月8日	令和4年3月18日	

# 中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター  
〒960-8018 福島市松木町1番7号  
☎534-6631 ☎533-7592

## 中央女性アカデミー オープン講座 受講生募集中！

中央女性アカデミーは、「新しいことをやってみたい！学びたい！」という女性が集まり、興味があること・生活に役立つことなどを幅広い分野にわたって学習する講座です。

今回は、4月から開講している中央女性アカデミーの体験講座になります。お気軽にご参加ください！

### 「男女共同参画について学ぼう」

最近メディアでよく耳にする「男女共同参画社会」。現代社会の“男女平等”の現状は・・・？  
オープン講座では、私たちの身のまわりにあるジェンダー理解の現状と課題について、お話しいただきます。  
講座をきっかけとして、男女共同参画について一緒に考えてみましょう。

- 日 時 9月10日(金) 午前10時～正午
- 場 所 中央学習センター 2階ホール
- 対 象 主に市内中央地区在住・在勤のおおむね20～60代の女性
- 定 員 15名(先着順)
- 講 師 福島県男女共生センター 岡部 貴敏
- 参加費 無 料
- 準備物 筆記用具
- 申込み 8月19日(木)～9月9日(木)までに中央学習センター窓口または電話にてお申込みください。



## 中央家庭教育学級

### カンガルー・ペンギン教室、元気に活動しました！

6月に開講した、0歳児コース「カンガルー教室(前期)」、1歳児コース「ペンギン教室(前期)」は、広いホールで密を避けながら、親子遊びや救急救命、リトミックなど、全8回の活動を楽しみました。

11月より「カンガルー教室」「ペンギン教室」の後期の活動がスタートします。講座では、子育ての悩みをみんなで話す時間もあります。子育て仲間をつくりたい方、ぜひお申込みください！

※詳細は、10月号の地区だよりをご覧ください。



カンガルー教室(親子遊び)



ペンギン教室(リトミック)

## 第52回

### 中央地区文化祭について

今年の文化祭は感染症対策を施しながら規模を縮小して行います。

#### ◎芸能発表会

10月31日(日)

こむこむ館わいわいホール

#### ◎展示等

11月6日(土)～11月13日(土)

中央学習センター全館

※詳細は10月以降の地区だよりをご覧ください。

## 令和やさしい地元学

### 信夫野・歴史の細道 第6回

ふくしまけん歴史の案内人の会  
(元福島県遺跡の案内人の会)

会長：紺野義行氏

#### 伊達氏、信夫荘に登場(石名坂の合戦)(「鎌倉」源頼朝 対 「平泉」藤原氏)

木村吉清が福島へ移した大森城は、およそ50年前伊達氏14代伊達植宗が築城した城である。伊達氏初代は伊達朝宗(ともむね)である。江戸時代の伊達家の歴史を記録した文書「伊達正統世次考」には、高子が岡に城を築いたこと、近くに亀岡八幡神社を創建したことが記されている。文治5年(1189)7月19日、源頼朝は平泉(現：岩手県)藤原氏征討のため千騎を率いて鎌倉を出陣し、8月8日から10日の阿津賀志山(国見町)・石那坂の合戦で平泉方を大敗させ平泉に到着、10月24日に鎌倉に凱旋した。鎌倉幕府の正史「吾妻鑑」はこれを「奥州征伐」と記している。「吾妻鑑」は、奥州征伐についての拠るべき唯一の文献であり、伊達一族が初めて信夫荘に登場するのを記す唯一の史料であり、記述の要点は次の通りである。

藤原秀衡(ひでひら)の郎従(ろうじゅう：主人に付き従う従者)である信夫佐藤庄司(基治)らは、石那坂の上に陣取った。(中略)ここに頼朝軍の常陸入道念西(ひたちにはうどうねんさい)の子息常陸冠者(かんじゃ：召使の若者)為宗、同次郎為重、同三郎資綱(すけつな)、同四郎為家らが密かに甲冑を秣(まぐさ：牛や馬の飼料とする草)のなかに隠して運び、伊達郡沢原の辺りに進出すると、先頭を切って矢石を放った。佐藤庄司らは死をいとわず挑み戦った。為重・資綱・為家らは傷を負ったが、為宗が特に命を忘れて攻め戦ったので、庄司をはじめとする主な者18人首を獲り、阿津賀志山の上の経岡にさらしたという。

江戸時代前期に伊達藩で編纂した「伊達正統世次考」では、伊達家の初代は朝宗とされている。上記の石那坂の合戦には朝宗の名はなく、常陸入道念西となっている。念西はいつから伊達と称されたのか？「吾妻鑑」の建久2年(1191)正月23日の条文には「女房大進局恩沢に浴す、これ伊達常陸入道念西が息女」とあり、合戦の終了後、勲功の恩賞として伊達郡を与えられてから「伊達」を名乗るようになったと推測される。従って、常陸入道念西が伊達家初代の朝宗となる。ここに伊達氏が誕生したのである。



石那坂古戦場跡(平石)

！新型コロナウイルスの影響により、講座の内容に変更・中止になる場合がございますのでご了承ください！